

平成28年度 特定非営利活動法人京都景観フォーラム 事業報告書

1. 事業の報告に関する項目

定款第5条に記載された各事業について、以下の通り実施した。

(1) 特定非営利活動に係る事業

表 事業一覧

事業名 (定款第5条)	プロジェクト名		事業概要
① 景観まちづくりについて 市民への情報・交流・啓発事業	情報の提供		市民が主体となって景観まちづくりを進めていくために役に立つ情報を提供する。
	景観についての意識の啓発に関する事業	地域サポート活動	市民が主体となって景観まちづくりに取り組んでいくための働きかけや支援を行う。(活動地域：鴨川景観、七条通界わい、嵐山、深草、柘野、三条通、待賢、元吉町)
		シンポジウム	通常総会に合わせて年に1回活動報告会を実施する。また、必要に応じてテーマ型シンポジウムを、都度、開催する。
		表彰	京都文化の向上に寄与する景観や景観を創造し維持する活動を、年に1回程度当法人にて選定し、「京都景観フォーラム賞」を贈呈。
② 地域景観資源の調査・研究	良好な景観の形成に関する調査研究		「景観まちづくり」のベースとなる地域特有の歴史的・文化的な意義を、文献や聞き取りによって、明らかにする調査や研究を行う。
	研究会事業		景観まちづくりに関わる専門性を高めるため、研究活動を行う。
③ 景観まちづくりに関する教育事業	地域の景観まちづくりを支援する専門家の育成	京都景観エリアマネジメント講座	地域の住民が主体となった「景観まちづくり」の推進を支援するために、専門的な知識を有する適切な人材を育成する。
④ 地域の景観まちづくりの支援(相談・アドバイス・人材の派遣)	受託事業		地域の住民が主体となった「景観まちづくり」の推進を支援するため、行政や民間から業務を受託したり、専門的な知識を有する適切な人材を派遣する。
	地域ネットワーク活動支援事業		地域が地域情報の共有や発信を行う取組を支援する事業として、地域ホームページ運営支援事業を進める。また、地域景観づくり協議会をはじめとして、景観まちづくりに取り組む地域間のネットワーク形成や交流事業を支援する。
	相談業務		地域で抱える「景観まちづくり」についての課題や疑問について、さまざまな分野の専門家(京都景観エリアマネージャー)がネットワークを組んで、相談に応じる。
⑤ 景観まちづくりへの提言	景観形成に寄与する企画・計画・提案・協働	公共景観要素デザイン	まちなかの景観に大きな影響を与えるサインなどの公共的なデザインアイテム(公共景観構成要素)についての研究・提案
		屋外広告物	まちなかの景観に大きな影響を与える屋外広告物についての研究・提案。
		みどり景観	まちなかの景観に大きな影響を与える植栽や街路樹、緑地についての研究・提案。
⑥ 景観まちづくり推進のための体制づくり			景観まちづくりを支援する専門家のネットワークを広げる。
⑦ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	交流活動		国内外の景観まちづくりに関わる団体と交流する。
	団体運営		各事業を適切に行うためのNPO運営を行う。

## ①景観まちづくりについて市民への情報・交流・啓発事業

### □情報の提供

住民が主体となって景観まちづくりを推進していくきっかけづくりや、さまざまな地域の景観まちづくりを支援するプロジェクトに取り組み、それによって得られた情報を、ホームページ、フェイスブック、メーリングリスト、プロジェクト冊子などを通じて提供する。

情報発信ツール	内容	更新	受益対象者の範囲 及び人数	実績
ホームページ	団体情報の発信	年に数回	公開	更新2回
フェイスブック ページ	団体の活動情報の予 告と報告	都度（1週間に 1回程度）	公開	月数回程度
メーリングリス ト	団体の活動情報の予 告と報告・景観まち づくりに関する情報 の提供	都度（1週間に 1回程度）	登録者数約300 （会員、講座受講 生、及び情報提供 希望者）	月数回程度
活動報告書	団体の年度活動報告	年に1回（5 月頃発行）	会員他	発行1回
プロジェクト冊 子	各プロジェクト報告	都度（各プロ ジェクトに応 じて発行）	会員他	発行1冊

### □景観についての意識の啓発に関する事業

市民が景観をきっかけとして、暮らしやまちに対する関心を高め、地域の繋がりを強め、未来へ向けて「京都らしい」「地域らしい」景観まちづくりに取り組んでいくための働きかけや支援を行う。

#### ■地域サポート活動

京都の景観として重要だと考える構成物（建物・建造物・インフラなど）や特定の地域について、プロジェクトを組んで自ら行動し、さらに市民や地域に働きかけて関心を促し、連携に広げていく事業を行う。

#### ●鴨川景観プロジェクト

概要：京都市の中心部を流れる鴨川の景観を通して、自然と暮らしの調和をテーマに鴨川の景観特性を学ぶフィールドワーク「鴨川おむすび紀行」を行った。また、竣工104年を迎えた七条大橋の景観的価値を広めるため、「七条大橋をキレイにする会」に協力した。

成果：鴨川と七条大橋に関するネットワークを融合し、七条大橋の南北東西に関心を広げることができた。特に、壁面の洗浄や文化財登録など、明確な目標を掲げて活動を続けることを確認できた。

活動：

活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	その他
鴨川府民会議へ参加	5月27日、6月10日、9月7日、12月20日、3月24日	京都府公館他	1	会議委員約40名	
鴨川おむすび紀行の実施	フィールドワーク：4月9日、7月23日、10月8日、講座：5月14日、9月24日	鴨川他	2	参加者のべ約30名	
企画展示「鴨川から見る、京都の近代から現代」	8月3日～31日	集西楽サカタニ	5	参加者約60名	
七条大橋をキレイにする会参加	毎月7日（計12回）	七条大橋	2	参加者のべ約700名	

### ●七条通界わいプロジェクト

概要：崇仁エリアマネジメント・京都市立芸術大学と連携して、大学移転を契機としたまちづくり、地域と大学の未来像を探った。崇仁学区の歴史研究・シンポジウムに協力し、エコロジカルな視点からの都市再生を提案し、崇仁高瀬川保勝会の立上げをお手伝いした。

活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	その他
柳原銀行記念資料館主催のシンポジウムに協力	10月15日	涉成園	1名	七条通界わいのみなさん	
崇仁高瀬川保勝会設立準備資料作成（緑と景観、町歩きレポート）	11月	崇仁学区	1名	崇仁学区	
崇仁風の道プラン提案（都市再生にグリーンインフラを組込むプラン）	11月～3月	崇仁学区	1名	崇仁学区 京都市立芸術大学	
芸大の助成金申請に生物多様性の視点からアドバイス	3月	崇仁学区	1名	崇仁学区 京都市立芸術大学	
崇仁高瀬川保勝会の発足に向けての協力	3月	崇仁学区	1名	崇仁学区 京都市立芸術大学	

### ●嵐山プロジェクト

概要：今年度は、嵐山景観まちづくり協議会の立ち上げに向けて、地域の若手メンバーを集めたワーキンググループを立ち上げ、ここを中心に、協議会に関するたたき台を作成する作業を行った。

活動：月1回の会合を行い、協議会の構成等、たたき台を作成した。

活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	その他
会合	月1回	嵐山保勝会	1名	ワーキンググループ（以下WG）8名	

### ●深草プロジェクト

市民活動として昨年度自立した『鴨川運河会議』の運営サポート、行政との連携支援、シンポジウムの共催等を行った。京都市伏見区役所深草支所より「（仮称）深草まるごとつながりネットワークの運営に関する業務」として受託し、「深〇ねっと」の対象を大岩神社周辺として、企画・運営を行った。

### ○鴨川運河会議

概要：ウォーキングやカフェ、資料の収集・展示、シンポジウムの開催等、事業の定着・推進を図るとともに、地元や行政との連携を進めた。

成果：月一度の定例会において、活動の方針を決めることが定着し、運営主体が形成された。各事業を通して、地域住民との中で、鴨川運河の近代化遺産としての価値共有を行った。シンポジウムでは、名古屋市中川運河での取り組み等から地域間連携の模索を行った。行政との協議を通し、撤去予定であった岸和田レンガの保全ができた。

活動：下記主事業の企画運営の他、他の琵琶湖疏水水系の調査等を行った。景観エリアマネジメント講座実践講座のフィールドとしても位置付け、受講生と鴨川運河会議との連携を行った。

活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	その他
カモウンウォーキング&カフェ	10月2日	藤森駅周辺	3人	のべ105人	
シンポジウム「水辺の楽しみ」～カモウガワウンガの使い方～	10月10日	深草支所	3人	51人	
カモウンウォーキング&カフェ	12月4日	藤森駅周辺	3人	87人	
カモウンウォーキング	2月19日	墨染ダム～三栖閘門	2人	80人	
鴨川運河会議『活動報告会&交流会』	3月18日	深草支所	3人	40人	
鴨川運河会議定例会議	毎月開催	深草支所他	3	各回10人前後	

### ○深草まるごとつながりネットワーク

概要：今年度は伏見区役所深草支所の委託事業として、『深草のみどりの保全から再生へ』というテーマのもと、画家堂本印象が寄進した鳥居が残る大岩神社周辺の市民参加による環境整備を行った。台風等の被害と、管理不全による荒廃した現状に、市民主体が、地域資源としての価値を見直し、環境を整備・活用していく流れをつくった。

成果 生木の伐採、倒木の撤去、溝の再生、社務所の清掃など、整備活動によって、荒廃していた環境が再生した。また、堂本印象寄進の鳥居の拓本化など、資源を活かした取り組みを行い、これまでの活動を含めた冊子にまとめることで、地域資源としての魅力発信が行われた。

活動：《知る》⇒《学ぶ》⇒《行動する》というステップを組み、事業を推進した。《知る》では、フィールドワークを中心に、参加者の現状理解を促し、《学ぶ》では、堂本印象美術館の協力を得、堂本印象についての理解を深めた。そして、《行動する》では、参加者が実際に現地での整備活動を行った。『土木・建築』『建物再生』『魅力発信』『おもてなし』の各チームが形成され、それぞれ活動を行った。

活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	その他
印象に残る〇〇を見つけよう～観察編～	5月14日	深草支所	2人	20人	
印象に残る〇〇を見つけよう～清掃編～	6月4日	大岩山周辺	2人	85人	
印象に残る〇〇を見つけよう～学習編～	7月30日	深草支所	2人	70人	
印象に残る〇〇を見つけよう～大人の遠足編～	8月27日	堂本印象美術館	2人	17人	
新たな印象をつくらう1	9月17日	深草支所	2人	18人	
新たな印象をつくらう2	10月1日	深草支所	2人	12人	
新たな印象をつくらう3	11月5日	大岩山	2人	25人	
新たな印象をつくらう4	12月5日	大岩山	2人	19人	
新たな印象をつくらう5	1月5日	大岩山	2人	21人	
新たな印象をつくらう6	3月25日	大岩山	2人	27人	

### ●柘野プロジェクト

概要：次年度、まちづくりビジョンの完成から5年となることに合わせ、推進状況の検証と今後の推進体制の見直しについて、検討、助言を行った。

活動：

活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	その他
まちづくりビジョン推進委員会	6月1日	柘野小学校	2人	10人	
まちづくりビジョン中間見直し検討会議	8月25日	景観まちづくりセンター	1人	4人	

### ●三条通プロジェクト

概要：三条通の界わい景観整備地域を対象としている「京の三条まちづくり協議会」の景観まちづくりに関して、地域景観づくり協議会への指定にむけた活動や体制づくり、無電柱化実現のための活動のサポート、三条通に相応しい屋外広告物の提案などを行った。

成果：地域景観づくり協議会の申請を10月19日に提出し、11月16日付で認定を受けることができた。12月7日に「6つの心得」のWSや1月11日に相談会のシミュレーション勉強会を実施して、この制度についての理解を深めた。継続して計画書の作成、景観まちづくり委員会の体制づくりなどをサポートしている。また、講師を招いてお話を聴く「まちカフェ」を開催し、景観まちづくりの方向性や進め方について勉強を重ねている。屋外広告物については、今年度は具体的な活動はできなかった。

活動：

活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	その他
まちカフェ 33 先斗町でのまちづくり	7月2日	京都文化博物館別館会議室	5	19	
電線地中化・無電柱化視察会	7月18日	清水界わい	4	6	
まちカフェ 34 祇園祭と現代に復活する山鉾	7月23日	京都文化博物館別館会議室	2	21	
「地域景観づくり協議会」説明会	8月21日	ウイングス 京都セミナー室	4	7	
まちカフェ 35 三条通の近代建築その歴史と保存活用を再考する	11月3日	京都文化博物館別館会議室	9	45	
「6つの心得」のWS	12月7日	河合塾 京都校	4	11	
意見交換会のシミュレーション勉強会	1月11日	河合塾 京都校	2	10	
まちカフェ 36 御池通が京都のシンボルロードになる	3月4日	京都文化博物館別館会議室	4	8	

るための工夫					
地域景観づくり協議会準備会	10月29日	京都建築事務所会議室	3	合計 4~7	
	11月13日				
	12月3日				
	12月23日				
	1月15日				
	2月4日				
3月5日					
電線地中化・電柱化推進委員会	2月13日	ウィングス 京都セミナー室	3	合計 8~11	
	6月11日				
	1月14日				
	3月24日				

### ●待賢プロジェクト

概要：待賢まちづくり委員会に参加し、待賢エコプロジェクトを始めとする活動に対し、助言や支援を行った。

活動：待賢エコプロジェクトにおける、生ごみ堆肥化装置の運用は、昨年度に引き続き継続した。堆肥の消費先の確保が課題である。待賢住民福祉連合協議会の体制変更に伴い、残念ながら、まちづくり委員会の活動休止が決定された。これに伴い、京都景観フォーラムも、待賢まちづくり委員会への支援を一旦終了することとなった。

活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	その他
まちづくり委員会	月1回	待賢学区	1	まちづくり委員会20名	
待賢まちづくりふれあいカフェ	月1回	待賢学区	1	参加者30名程度	
ありがとう！待賢小学校～感謝のお掃除会～	3月18日	元待賢小学校	5	参加者約20名	

### ●元吉町プロジェクト

概要：今年度、地域景観づくり協議会設立、来年度計画書づくりを目標にする地域の取組に対し、助言や支援を行う。

成果：3月に祇園新橋景観づくり協議会の設立総会を行い、3月30日に、京都市に対し、地域景観づくり協議会の認定申請を行った。

活動：

活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	その他
元吉町まちづくり部意見交換会	月1回	登希代	1名	元吉町まちづくり部15名	

祇園新橋景観づくり協議会設立発起人会	月1回	登希代	1名	コアメンバー5名	
地蔵盆での説明会	8月20日	辰巳大明神	1名	地域住民等30名	
説明会	10月30日	白梅	1名	自治組織役員等8名	
初午での説明会	平成29年1月19日	辰巳大明神	1名	地域住民等30名	
寒供養での説明会	2月24日	辰巳大明神	1名	地域住民等30名	
協議会設立総会	3月18日	竹香	1名	地域住民等91名	

## ■シンポジウム

1年に1回、NPOの活動報告会を開催する。また、各プロジェクトの進捗にあわせて、テーマを設けたシンポジウムを開催する。

### ●活動報告会

概要：5月の総会にあわせて、同日に昨年度事業の報告会を行った。会員向けの情発信や、非会員向けの活動紹介を目的とし、NPOの活動内容を総合的に知っていただく機会とした。

成果：参加者数 21名（正会員11名、一般会員10名）

活動：

日時：平成28年5月28日（土）13時半～17時

場所：元待賢小学校 会議室

13:30～ 通常総会

14:30～ 活動報告会「京都景観フォーラムの活動紹介」

16:10～ 意見交換・話題提供：「将来ビジョンと来年度事業計画」

### ●シンポジウム：日台民間交流シンポジウム in KYOTO

概要：「官民協働，市民参加と地方自治」をテーマに、財団法人台湾民主基金会（TDF）との共催でシンポジウムを開催した。日本と台湾の経験を比較検討した。京都は千年の歴史の中で幾度も壊滅的な危機に直面したが、そのたびに人々の創意工夫、伝統の継承と革新によって乗り越えてきた。今日、京都市においては、京都市未来100人委員会や各区役所での住民ミーティングや助成事業が開催され、京都府においては京都府地域力再生プロジェクト支援事業が実施され、住民参加やエリアマネジメントの様々な取り組みが行われている。今回の会場となった立誠学区は、住民主導の文化・景観まちづくりで空洞化や荒廃を克服してきた地域である。明治時代に地域住民によって創設された立誠小学校は人口減少により1993年に教育施設の役割を終えたが、歴史ある校舎は保全され老若男女が集う文化活動の拠点として活用されている。以上のような取り組みを、京都経験（Kyoto experience）として発信



し、台湾における地方都市経営、災害からの復興、自然と共生する地域開発の経験と比較し議論した。

成果：崇仁・菊浜学区・京都市立芸術大学・東九条の在日コリアンコミュニティとの関係づくりから、地域と東本願寺や福祉施設とのネットワークを活用して、国際シンポジウムを開催することができた。また、第1回シンポジウムで行った京都ならではの演出に好評いただき、第2回目のシンポジウム開催につなげることができた。高瀬川の桜の下で、京都文化と地域ネットワークを活かした手づくりのおもてなしをすることで、打ち解けて信頼感に満ちた国際交流となったと考える。

活動：

活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	その他
シンポジウム	平成28年4月1日、2日	元・立誠小学校	10名	108名参加 東アジアの人々	

#### ●シンポジウム「景観まちづくりの新たな潮流」

概要：京都市地域景観まちづくりネットワーク主催、京都景観フォーラム共催で、平成28年12月に、平成28年12月11日（日）下京区のしんらん交流館にて、シンポジウム「景観まちづくりの新たな潮流」を開催した。地域景観づくり協議会制度の認定を受けた8地域に加え、市の景観政策、屋外広告物、コミュニティ推進の各部局からパネリストが登壇した。

活動：

活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	その他
シンポジウム	平成28年12月11日（日） 13時半～16時	しんらん交流館	7名	163名	

#### ■表彰

京都文化の向上に寄与する景観や景観を創造し維持する活動を、年に1回程度当法人にて選定し、「京都景観フォーラム賞」を贈呈する。（平成28年度は該当なし）

## ②地域景観資源の調査・研究

### □良好な景観の形成に関する調査研究

「景観まちづくり」のベースとなる地域特有の歴史的・文化的な意義を、文献や聞き取りによって、明らかにする調査や研究を行い、景観に関する現状を調査、分析し、地域の特

性を明らかにして、望ましい将来像を提案する。また、景観的価値を地域や市民が再認識して「景観まちづくり」を推進していくプロセスを研究し、それらの研究や地域で展開しているプロジェクト事業を通して、「景観まちづくり」のノウハウを研究し構築していく。

活動内容	活動日時	概要	その他
「堀川みどりのまちづくり」発行	平成29年3月	「堀川みどりのまちづくり会」と共同で発行。堀川通の歴史・自然・景観・コミュニティ・生業・現状と未来ビジョンをまとめた。	「堀川みどりのまちづくり」発行
寄稿文：見て歩き 土木遺産 「琵琶湖疏水『鴨川運河』の魅力」	平成29年2月	琵琶湖疏水でありながら、埋もれた存在である「鴨川運河」の歴史と魅力について紹介するとともに、鴨川運河を活用したまちづくり活動について考察した。	「土木技術」第72巻第2号（2017.2）、pp. 80-83.

## □研究会事業

概要：広報活動の一環として「京都」と「景観」に関連した内容のまちあるきやフィールドワーク、研究会や勉強会を開催するとともに、会員や参加者など京都景観フォーラムに関心を寄せてくださる方々への情報発信を行う。また、京都景観エリアマネージャーを対象として自己研鑽を図る研究会も行っていく。（平成28年度は該当なし）

## ③景観まちづくりに関する教育事業

### □地域の景観まちづくりを支援する専門家の育成

地域に相応しい景観を保全し創造していく「景観まちづくり」を進めていくためには、地域の歴史や文化、地域の商いや経済の状況、人々の暮らし方など、地域固有の多様な情報を読み取り、総合的な見地によって整理し、マネジメントを図る専門家の手助けが必要だと考える。そのために、「京都景観エリアマネジメント講座」（詳細後述）を実施して、必要な専門的なスキルを身に付け、地域を支援する人材：「京都景観エリアマネージャー」（詳細後述）を育成し登録する。また、そのネットワークを構築して、さらに研鑽を積みながら、地域を支援する活動を展開していく。

#### ■京都景観エリアマネジメント講座

景観まちづくりに関わろうとするさまざまな分野の専門家を対象とし、1年目は景観まちづくりにおける基礎的な知識を得るための基礎講座（8か月・全8回）と、2年目は地域での支援やコーディネートなどより実践的なノウハウを学ぶ実践講座（8か月）で構成する。基礎講座での全8回に出席し、実践講座での実習や修了レポートを提出して、一定の能力を身に付けたと認められるものに「京都景観エリアマネージャー」の称号を授与し、当法人の主旨に同意して活動を共にしていく意思のある者を、登録・京都景観エリアマネージャーとして登録する。

成果：第6期実践講座 平成28年6月～29年2月 受講者 9名  
 第7期基礎講座 平成28年7月～29年2月 受講者 27名  
 ※1期～7期までの基礎講座受講者数 193名(通年)  
 ※1期～6期までの実践講座受講者数 82名(通年)  
 ※京都エリアマネージャー登録者数 54名

【実践講座】

回	日程	科目	講師	内容	従事者数	参加人数
1	平成28年 6月25日 (土) 10:00-17:00	オリエンテーション	実践講座カリキュラム、実践フィールドの紹介とグループ分け		4	7
		色彩	渡辺安人氏(アーキタイプ工房)	「色彩と景観調和について」		
2	7月10日 (日) 9:30-12:30	景観	堀繁氏(東京大学大学院教授)	「景観を理解する」	4	8
3	8月6日 (土) 13:00-17:00	地域の動き	森川宏剛氏(京都景観フォーラム)	「地域景観づくり協議会の立ち上げと運営」	4	7
4	9月19日 (月) 10:00-17:00	ファシリテーション	中田豊一氏(NPOムラのミライ/参加型開発研究所)	「対話型ファシリテーター講座」	4	7
	10月1日 (土) 16:00-19:00				4	6
5	10月8日 (土) 13:00-17:30	景観まちづくり	門内輝行氏(京都大学名誉教授)	「景観まちづくりの現場から」	4	8
6	11月26日 (土) 13:00-17:30	発表会&ワークショップ	グループごとに検討した、地域への提案内容について発表し、これを題材に地域への支援の在り方等について考える		4	8
-	12月17日 (土) 10:00-12:00	個人レポート相談会	個人レポートの作成について、評価委員が相談にのる		4	-
-	平成29年 1月12日 (木)	個人レポート提出締切日			-	-
7	2月18日 (土) 13:30-17:30	個人レポート発表会・修了式	個人レポートを発表		4	6

【基礎講座】

回	日程(*)	科目	講師		従事者数	参加人数
1	平成28年 7月9日(土)	基礎理論(1)	堀 繁氏	東京大学大学院教授	8	33
2	8月20日 (土)	基礎理論(2)	宗田好史氏	京都府立大学教授	10	32
3-1	9月20日(土)	京都のまちの形成と景観史	中川 理氏	京都工芸繊維大学教授	6	26
4-1	10月15日 (土)	土木と景観デザイン	山田 圭二郎氏	金沢大学准教授	6	32

6-1		建築とランドスケープ	佐々木 葉二氏	京都造形芸術大学教授		
5	11月12日 (土)	京の文化	矢ヶ崎善太郎氏	京都工芸繊維大学准教授	4	30
			谷 晃氏	野村美術館館長		
			笹岡 隆甫氏	未生流笹岡家元		
4-2	11月19日 (土)	土木と景観デザイン	篠原 修氏	東京大学名誉教授	2	18
3-2	12月17日 (土)	京都のまちの形成と景観史	高橋 康夫氏	花園大学教授・京都大学名誉教授	5	27
6-2		建築とランドスケープ	江川 直樹氏	関西大学教授		
7	平成29年 1月21日 (土)	景観政策と法律	飯田 昭氏	弁護士	4	24
			石田 光廣氏	司法書士		
8	2月18日(土)	景観まちづくり・修了式	高田 光雄氏	京都大学大学院教授	6	46

\* 講師の都合などにより、開催日の変更があった。

#### 【京都景観エリアマネジメント講座運営委員会（会議）】

講座の内容、講師依頼、パンフレット制作、講座当日の段取り、などについて話し合った。

6/8 6/21 7/26 10/4 11/15 12/27

5/10 5期実践講座レポート評価委員会（再評価）

1/24 6期実践講座レポート評価委員会

#### 【京都景観エリアマネージャー研究会】

（平成28年度は実施なし）

### ④地域の景観まちづくりの支援（相談・アドバイス・人材の派遣）

#### □受託事業

地域が、地域景観づくり協議会、地区計画の策定、建築計画や景観協定の締結など景観まちづくりに取り組む際に、適切な人材を派遣し支援する。また、京都の景観に関わる調査研究事業を受託し、団体の実績とする。

活動：

活動内容	活動日時	概要	その他
「（仮称）深草まるごとつながりネットワークの運営に関する業務」	平成28年4月1日～29年3月31日	「深〇ねっと」の対象を大岩神社周辺として、企画・運営。 担当者に京都景観エリアマネージャー2名（専門：建築、デザイン）	京都市伏見区役所深草支所
サイン『琵琶湖疏	平成29年3月	支柱サイン オスロRWG-8の仕入	京都市伏

水（鴨川運河）の散歩道』	1日～29年3月31日	れ、納品 担当者に京都景観エリアマネージャー1名（専門：建築）	見区役所 深草支所
コーディネーター派遣業務（元吉町まちづくり部、祇園新橋まちづくり協議会（仮）設立発起人会）	平成28年7月11日～29年3月31日	祇園新橋地域におけるまちづくり協議会の立ち上げ支援 担当者に京都景観エリアマネージャー1名（専門：まちづくり）	京都市景観・まちづくりセンター
コーディネーター派遣業務（嵐山景観まちづくり協議会設立準備会）	平成28年10月30日～29年3月31日	嵐山地域におけるまちづくり協議会の立ち上げ支援 担当者に京都景観エリアマネージャー1名（専門：まちづくり）	京都市景観・まちづくりセンター
「住民主体の景観づくり支援業務」	平成28年6月28日～29年3月31日	「京都市地域景観まちづくりネットワーク」の会議運営と、地域景観づくり講座の企画運営。 担当者に京都景観エリアマネージャー6名（専門：建築、まちづくり、観光）	京都市景観・まちづくりセンター
「景観政策検証システムの実施に関する業務」	平成28年6月10日～29年3月31日	景観市民会議の企画運営と、景観白書データ集の更新。 担当者に京都景観エリアマネージャー5名（専門：建築、まちづくり、土木）	京都市（景観政策課）

## □地域ネットワーク活動支援事業

地域がホームページ等を活用して、地域情報の共有や発信を行う取組について、技術的な支援や提案を行う地域ホームページ運営支援事業を推進する。また、地域景観づくり協議会をはじめ、景観まちづくりに取り組む地域のネットワーク形成や交流事業を支援する。

### ■地域ホームページ支援

修徳学区、桂坂学区、松ヶ崎学区、京都市建築協定連絡協議会の4団体について、引き続き更新支援を行った。

### ■京都市地域景観まちづくりネットワーク

昨年度から、京都市内の地域景観づくり協議会の認定を受けた9地区が、隔月で集まる機会をつくり、各協議会相互の情報交流を行っている。12月11日には、当ネットワーク主催で、初めてシンポジウムを開催した。

活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	その他
定例会	隔月第1木曜	京都市景観・まちづくりセンター	3名	参加者、毎回20名程度	
シンポジウム	12月11日	しんらん交流館	7名	参加者163名	

## □相談業務

地域で抱える「景観まちづくり」についての課題や疑問について、さまざまな分野の専門家（京都景観エリアマネージャー）がネットワークを組んで、相談に応じた。

活動：

活動内容	活動日時	概要	その他
先斗町連続セミナー	6月27日	講師として京都景観エリアマネージャー 1名（専門：まちづくり）	先斗町
不動産コンサルティング協会例会	7月27日	講師として京都景観エリアマネージャー 1名（専門：建築）	不動産コンサルティング協会
景観市民会議	8月28日	ファシリテーターに京都景観エリアマネージャー 6名（専門：建築、法務）	京都市景観政策課
龍大みらプロシンプोजウム	11月5日	パネリストとして京都景観エリアマネージャー 1名（専門：まちづくり）	龍谷大学
藤城学区ビジョン策定	11月から月2回程度	相談対応として、京都景観エリアマネージャー3名（専門：まちづくり、建築、法務）	深草支所
地域景観づくり講座	11月11日、11月19日、11月22日、12月6日、1月10日、1月31日	ファシリテーターに京都景観エリアマネージャー 4名（専門：建築、まちづくり、観光）	京都市景観政策課
近畿建築祭	12月3日	講師として京都景観エリアマネージャー 1名（専門：まちづくり）	京都府建築士会
まちづくり共同研究会定例会	12月7日	地域景観づくり協議会について講師として、京都景観エリアマネージャー 1名（専門：まちづくり）	まちづくり共同研究会
大谷大学 Happy hour！	12月15日	ゲストスピーカーとして京都景観エリアマネージャー 1名（専門：建築）	大谷大学
歴史まちづくり推進協議会	2月14日	講師として京都景観エリアマネージャー 1名（専門：まちづくり）	京都市景観政策課
京女奈良女合同シンポジウム	3月13日	講師として京都景観エリアマネージャー 1名（専門：まちづくり）	京都女子大学
京都市建築協定連絡協議会 勉強会・意見交換会	3月20日	ファシリテーターに京都景観エリアマネージャー 3名（専門：建築、法務）	京都市建築協定連絡協議会
北区まちづくり支援事業		選定委員に理事1名（専門：建築）	京都市北区
崇仁エリアマネジメント「歴史・文化・景観」部会		メンバーに京都景観フォーラム理事1名（専門：ランドスケープ）	崇仁エリアマネジメント

## ⑤景観まちづくりへの提言

### □景観形成に寄与する企画・計画・提案・協働

京都市内の良好な景観形成に、当法人の専門的な見地から寄与するために、行政や企業、団体等に対して、企画や計画・提案を行う。

### ■公共景観要素デザインプロジェクト

まちなかの景観に大きな影響を与える公共的なサイン、照明柱やバス停、ベンチ、フェンス等のストリートファニチュアなどのアイテム（公共景観構成要素）についての研究・提案を行う。（平成28年度は実施なし）

## ■屋外広告物プロジェクト

京都市の屋外広告物政策のターニングポイントであり、「規制型」から「ブランド形成型」の施策が求められている。今までの景観改善の成果を調査分析するとともに、そこから得られた知見や市民の評価や学識者のアドバイスなどから、ビジョンづくりを行う。(平成 28 年度は実施なし)

## ■みどり景観プロジェクト

京都市は建築物や屋外広告物の景観については画期的かつ十全のガイドラインを持っているが、緑景観については「緑の基本計画」があるものの、前者に比べて力不足の感がある。例えば神社の森を開発してマンションを建設する場合に緑の連続性をいかに保全するか、公開空地や街路などの都市緑化に風土性や生物多様性をいかに織り込むか、ヒートアイランド現象を緩和する風の道をいかに形成するかといった課題に対する、具体的かつパワフルなガイドラインが必要である。

今年度は、堀川通（御池～四条）の「緑の軸」にふさわしい未来像を、地域の皆さんと考えるプロジェクトを実施した。中京区が主催するマチビトカフェでメンバーが集まり、「堀川みどりのまちづくり会」を立ち上げた。都市環境デザイン会議（JUDI）、京都府、中京区の助成を得た。

2017 年 1 月 18 日「堀川みどりのまちづくり Café」では、地域の皆さんが堀川通みどりまちづくりのアイデアを語り、造園デザイナーがラフスケッチを描いた。

以上の活動を取りまとめてパンフレット「堀川みどりのまちづくり」を発行した。

堀川通の東と西では、地域のイメージ・ブランド意識が違い、一体感が薄いといえる。交通量の多い大通りで分断されていることがその一因である。町歩きをして、東側は激しい開発の波にさらされ、西側は比較的昔の雰囲気を残していることが分かり、それぞれの特色に応じたまちづくりが必要であるが、交流することでお互いのイメージを高めること分かった。

また、今の姿からは想像できない戦前の堀川の風景や生業を知り、世代間の認識のギャップが大きいことも分かったが、それがきっかけで地域活動への参加して、古老の思い出をヒヤリングするようになった。

町家を借りてビジネスを興し街を大切にしている人たち、屋上緑化グループや街路樹サポーターなど緑を育てる人たちと知り合うことができ、まちなかにも生き物がたくさんすんでいて、生物多様性があることも分かった。京都市都市緑化協会や左京区大原の野草研究家、京都御所の自然保護グループなど今後の連携・協力関係が生まれた。

活動内容	活動日時	活動場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	その他
月 1 回の打合せ・町歩き・ヒヤリング	6 月から 12 月	堀川通周辺	10 名程度	堀川通沿道住民	
「歩きたくなる！！堀川通」懇	8 月 30 日	中京区役所	10 名程度	堀川通沿道住民	

話会					
「堀川みどりのまちづくり Café」	1月18日	中京区役所	24名	堀川通沿道住民	
パンフレット「堀川みどりのまちづくり」を発行	3月		2000部	京都市民	

## ⑥景観まちづくり推進のための体制づくり

行政区や既存の地域団体にとらわれず、まとまった区域で共通のテーマを持って「景観まちづくり」を推進しようとする者と、団体と団体、人材を結びつける橋渡しの役割を担い、新たな展開に広がっていく。そのため、京都景観エリアマネージャー同士が情報共有しながらネットワークを組み、京都の景観まちづくりの支援を行えるような環境を整備し、継続する。

活動内容	活動日時	概要	その他
京都女子大学「連携・協力に関する協定書」締結	12月	それぞれの持つ人材や知識、情報などの資源を活用して相互に協力することにより、人材育成に寄与する	

## ⑦その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

### □交流活動

京都の景観を考えるうえで必要な団体間の交流や国内外の都市視察などを行い、自らの活動の視野を広げる。(平成28年度は実施なし)

### □団体運営

以上の各事業を実施する上で、必要な団体運営を行う。

### ■会議

各プロジェクトの推進のために必要な会議を適宜開催した。団体の運営方針やプロジェクト間の調整などを行う運営会議と各プロジェクトについて共有する景観サロンを月1回程度、事務局内部共有のための事務局会議を週1回程度開催した。また、必要に応じて理事会や総会を開催した。

活動：

開催日	会場	参加者	区分
平成28年4月28日	元待賢小学校	理事4	理事会
平成28年5月12日	元待賢小学校	理事5	景観サロン
平成28年5月28日	元待賢小学校	正会員11	総会
平成28年6月9日	元待賢小学校	理事3	景観サロン
平成28年7月14日	元待賢小学校	理事5	運営会議
平成28年8月18日	元待賢小学校	理事6	運営会議
平成28年9月8日	元待賢小学校	理事6	運営会議
平成28年10月13日	元待賢小学校	理事5	運営会議
平成28年11月10日	元待賢小学校	理事6	理事会



平成 28 年 12 月 8 日	元待賢小学校	理事 4	運営会議
平成 29 年 1 月 12 日	元待賢小学校	理事 5	運営会議
平成 29 年 2 月 9 日	元待賢小学校	理事 5	運営会議
平成 29 年 3 月 9 日	元待賢小学校	理事 5	運営会議
平成 29 年 3 月 19 日	元待賢小学校	理事 7	合宿

## ■会員

平成 28 年度末時点の会員数は以下の通りであった。

正会員	18 名
一般会員	62 名
賛助会員	4 団体
顧問	3 名

## ■その他

事業推進のための適切な団体運営を行うに当たり、認定 NPO の指定を目指したが、条件を満たせなかったため、京都市とも相談を継続しながら、申請は次年度以降に延期する。

また、NPO 運営について専門家からアドバイスを頂くため、市民活動総合支援センターからサポートを受けた。

活動内容	活動日時	概要	従事者数
市民サポーター制度の活用	平成 28 年 11 月 3 日、11 月 17 日、12 月 15 日、1 月 19 日	適切な NPO 運営を行うため、会員制度、寄付集め、事務局体制の見直しなどについてアドバイスを受けた。(アドバイザー 4 名)	5 名

## ■メディア掲載

NPO に関する活動について、以下のメディア掲載があった。

活動内容	活動日時	概要	従事者数
京都新聞	平成 28 年 4 月 8 日	「七条大橋の価値発信議論」(鴨川景観プロジェクト)	-
京都新聞	平成 28 年 5 月 15 日	「深草眠れる魅力発見」(深草プロジェクト)	-
京都新聞	平成 28 年 6 月 29 日	「景観・まちづくり学んで」(京都景観エリアマネジメント講座)	-
京都新聞	平成 28 年 10 月 12 日	「『疏水のうた』歌詞復活を」(深草プロジェクト)	-
京都新聞	平成 29 年 2 月 1 日	「まちづくり市民が支え」(市民サポーター制度の活用について)	-
京都新聞	平成 29 年 3 月 18 日	「祇園新橋の風情守りたい」(元吉町プロジェクト)	-